

**2003.3.31 No.38**

● sapporo

ごあいさつ札幌組組長 **海野 英爾**

平成11年度より組長としてまがりなりに
も責務を遂行してまいりました。その間、
組内の各ご住職、僧侶、多くのご門徒皆様
のご協力とご理解を賜る中歩ませて頂きま
したこと深謝申し上げます。

基推委における各部の動きも各教化団体
の充実を図るべく一応の成果をみたと思ひ
ます。その他、今後新しい教化活動に不可
欠な「情報企画委」は組HPを立ち上げ、よ
り情報開示を求める事が出来るよう充実が
図られた事は大きな期待であります。

又「同朋専門委」においても、より大き
な視点に立ち社会問題を捉えながら念仏者
としての理解と具体的取り組みを進めて行
かねばなりません。

この度も、先の「臨時組会」にて再選を
賜り重責に就かせて頂きました。今日まさ
に内外とも「〇〇改革」が叫ばれており、
本山におきましても4月より「機構改革」
が進められ、「わかりやすく」「親しみやす
く」基幹運動推進としての組織内容の充実

を目指すべく改革に取り組みました。基幹
運動は決して一部組織に関わっている熱心
な人の運動体でもなく、僧侶・門徒の一人
ひとりが念仏者自らの責任として取り組ん
で行かねばならない運動推進であります。

日頃「共生・共存・共命」と申しており
ながらも、己の心を閉ざし、相手の心を汲
み取ろうとしない私は、何時しか「獅子身
中の虫」化しており、念仏者である私自身
に大きな問題があることに気づかされます。
恥ずかしい事であり「基幹運動推進」に関
わっている一人として深く反省しなければ
なりません。

新年度スタートにありましても「念仏者」
としてのあり方を見つめ直し、「あるべき姿」
を組内皆様方と模索しながら、各行事、研
修会等を遂行してまいる所存です。組内皆
様方のご理解、ご協力頂きたく宜しくお願
い申し上げます。

合 掌

平成14年度の基推委・各部の動き(研修会報告)

月 日	名 称	テ ー マ	講 師	会 場
7/17	第9回連研	神を拜むことは日本人の宗教としてよいこととおもいますが	木村良盛	別院
7/26~27	門徒子弟の集い	大自然の中で	岡 紘雅	羊蹄山自然の家 青年の森
8/21	第10回連研	国のために戦死された方を国が祀ることは当然ではないか。靖国神社を国家護持することがなぜいけないか	佐々木光明	別院
8/26~27	寺族婦人会	教区寺族婦人会連盟30周年記念大会	雪山玲子	別院・H.モントレ
9/27	第11回連研	環境破壊や脳死・エイズの問題は信心の生活とどのように関係するのでしょうか	打本碩真	別院
9/28	門徒子弟の集い (稲刈り)	おいしいお米を自分の手で作ってみたいそして仏さまへ	清水 勇	江別
10/12	連研補講	お浄土とはどんなところなのでしょう	打本毅盛	別院
10/14	門徒子弟の集い (別院報恩講参拝)	おいしいお米を自分で作ってみたいそして仏さまへ	鈴木善隆	江別
10/20	第12回連研	お寺を活性化するにはどうしたらよいのでしょうか	山階照雄	別院
11/14	門信徒講座	「かくれ念仏」影絵 「光かがやく」	空知南組有志 杉原 真	別院
11/17	札幌組追悼法要	共々のお念仏のみ教えに出遇わせて頂く	升巴隆夫	別院
11/20	宗門の現状を学ぶ集い	今 宗門は	宮崎恵之	別院
12/7	総代研修会	阿弥陀さまとお浄土	黒田覚忍	後楽園H
12/7	青年の集いスポーツ 大会	スポーツを通して親睦を深めましょう	上守正行	JR研修センター 信行寺
12/8~9	仏婦連一泊研修会	数異抄に学ぶ	中西智海	定山溪ビューH
12/22	青少年部・寺族婦人会 合同忘年会ボウリング大会			スガイホール・ H.サンフラワー札幌
1/22	札幌組新年会			センチュリーロイヤルH
2/5	組巡回学習会	御同朋の願いに応える教学	忍関崇教	別院
2/21	寺族婦人会料理講習会	ちょっとく工夫して素敵なランチを	安楽寺婦人会 会長	安楽寺

教区の動き 変わる基幹運動

教区会議員 打本 顕真

去る三月十二日、教区基推委総会が開催され、本年度の総括と計画案が協議された。第二期組巡回の三年目を終えて、各組にどのように受けとめられているかと検討された。組の取り組みに格差があるのと、参加者が固定化されてきている問題点が課題としてあることが確認された。

宗務所の機構改変に伴う基幹運動の見直しによって、宗則が変更になったが教区基推委の委員からは、積極的に評価する声はほとんど上がらなかった。ますます上意下達の運動になってしまう危険性をはらんでいるという意見が強く出されたが、宗則が成立した以上それに従って区令も変更しなければならないことが説明された。

三月十七日の九四回定期教区会において、他の法規議案と共に基推委の設置規則が審議された。区令案にはさまざまな問題があり、早急な宗則の見直しを求める請願書を宗会に提出することを条件に、可決された。

-
- * 9月寺族婦人会の若い方々の会「なでしこ会」が発足しました。
 - * 同朋委員会が発足し委員会の位置、構成、予算等が審議され、また、今後の取り組み方と、方向性について検討された。



青少年部「田植え」…… 農家の方のご苦勞を思いながら、1本1本、一生けんめい、丁寧に植えました。

退任にあたって

札幌組 寺族婦人会会長 久朗津静慧

月日の経つのは早いもので就任以来もう二年たったのですね。さっぱり何もしないうちにすぎたような気がします。しかしその間、住職さんをはじめ僧侶の皆様、寺族の方々には色々とお世話になりありがとうございました。

去年は特に八月二十七日にはお裏方様ご臨席のもと北海道教区寺族婦人会連盟の三十周年の記念式典があり感慨深い年でありました。全道から150名近くの参加者があり札幌組からも23名の坊守さん達が出席され盛大な大会でした。また各ブロックごとの親睦会もだんだん定着しすこずつ親交も深まってきたようです。その上、若い坊守さん達の会も結成されて「なでしこ会」と名づけられたそうです。これからの活躍が期待されますね。今後、寺族婦人会がより活性化されることを願いつつ。

皆様、御協力・御助力ほんとうにありがとうございました。これからも御意見等ありましたら、どしどしお寄せ下さいませ。



▲恒例の「お料理講習会」



▲教区寺族婦人会連盟30周年記念祝賀会



▲イマジン21「再会」公演のお手伝い

イラク攻撃に思う

打本顕真

いまアメリカのイラク攻撃に、口を閉ざしていたら仏教徒としては、まことに悲しい姿を世にさらすといわねばならないだろう。

仏法はなによりも「いのち」をいとおしむ教えである。「仏説無量寿経」には、「兵戈無用」のことばさえ説かれている。

近年の戦争は、空爆が主たる攻撃になっているが、空爆に誤爆はつきものだ。誤爆で吹き飛ばされたいのちが、これまでにどれほどいたであろうか。想像するのも恐い気がする。

そのいのちに、我々は仏教徒として敏感であったであろうか。異教徒同志が憎しみ合い戦争を繰り返す現代に、仏教の中道精神こそ真の和解をもたらすものだという仏教側の思いがある。

その第一歩こそ、いまイラクで殺されているであろう市民への想像力を仏教徒が発揮することだと思うのだが…。

ちよつと読んでみようかこの一冊

「逆説の日本史」6中世神風編 鎌倉仏教と元寇の謎 井沢 元彦 (小学館文庫 657円)

待望の文庫化。この巻は鎌倉新仏教がどのように展開されてきたのかわかりやすく又、面白く紹介されている。日本における仏教伝来の特殊性（第一章）、平安後期に流行した極楽浄土信仰（第2章）道元と日蓮編の昭和ファシストが心酔した〔日蓮サイクル〕の嘘と実…等。「日本の仏教はやはり日本独自の発展を遂げた仏教なのである。そしてそれも一つの歴史であって、その歴史、特に仏教がどのように変容し、日本の仏教として完成されてきたかを知ることは、結局日本史を知ることにもなる」と述べられるように、信仰の展開や変容は歴史と共に展開される。鎌倉新仏教はそのように成立された。



ニューフェイス

光円寺 一瀬 守城

一昨年の秋に札幌に戻り、現在、自坊にて法務を手伝っています。又、昨年十月より、正信会にも入会させて頂き、色々と勉強させてもらっています。自分は、人見知りをする方なので、組内の皆様に溶け込む様になるには、少し時間がかかるとは思いますが気軽に声を掛けて頂ければ幸いです。昭和52年生れ現在25才で何も分からなく経験不足です。今後、皆様には色々とお世話になる事があるとは思いますが何卒、宜しくお願い致します。



万行寺 坪井 宗尚

昭和48年、秋彼岸のお中日に生まれました。名前は宗教の「宗」に和尚の「尚」と書いて「もとなお」と読みます。まっすぐに僧侶になったかのような名前ですが、紆余曲折の末、平成12・13年度と中央仏教学院で学び、12年秋に度課をいただきました。自坊に帰ってちょうど一年になりました。門徒の方々と共に歩む僧侶になりたいと思っています。まだ歩き始めた私ですが、どうぞよろしくおねがいします。



【嫁いでからの思い】「施主となるは易く 施を受くるは難し」

組内で今一番新米坊守の出倉朋美と申します。嫁いでからずっとこの御文に感銘を受けています。ものを施すのは、その気になれば私にもたやすいと思うのですが、ご門徒さんからの施しを受け取ってその志のままに活かしているのか、それはとっても難事であると…

私は、在家に生まれ育って平凡ながらもOLも経験して何一つお寺というものを知らずに嫁いでから早13年目。「布施」という名のもを受けて毎日の生活の糧としているので、どのように心を落ち着かせるか本当に苦心しています。だから「施を受くるは難し」が痛く身にしみ今日に至っております。

【特技】 雪かき・ビールの早飲み

【これからの抱負】 いつも滞りの遅い新住職ですが、これからも共に歩んで聴聞に励み、心の耳が澄まされていく環境作りにつとめていきたいと思っております。



●證誓寺坊守

出倉 朋美

うちの坊守さん

子供の頃、私は西野の山奥に母と疎開をしていました。近くのたんぼの畔道を走りまわり、わんぱく時代を過ごしていた時、町から来た男の子がたんぼに落ちるのを見て、いい気味と笑ってわらだくみをしていたものです。

私と住職は、高校時代同級生でした。20年も経て不思議な縁で結婚しました。そして、あの時たんぼに落ちた男の子が現在の住職であると気付いたのです。

嫁いだ先は未知の世界でした。お姑さんは開基坊守さんでありながら気さくで、無理せず自然体で坊守の心得を教えて下さいました。知らず知らずお念仏を称えるようになっておりました。

住職の強い勧めで得度・教師も受けることができました。私の趣味を生かしてカラオケの教室も続けさせてくれています。

突然原因不明の火災や、前坊守さんの死と、苦しい日々も阿弥陀様との日暮らしをさせていただき中で、乗り越えることが出来ました。ただひとつ残念なことは、嫁いだ時すでに他界されていた開基住職さんに一度もお会いできなかった事です。檀家さんは口を揃えて仏様のようなお方と言って下さいます。そして、今の若がどことなく感じが似ているとか…。

その息子も得度をし、今は音楽大学に在学中です。檀家さんの前で、何回もコンサートを開き、その度に暖かい拍手・声援をいただきご法縁の深さに有難く感謝させていただき毎日です。

そして、檀家さんと共に喜び悲しむことのできる坊守の幸せをかみしめる今日この頃です。

合 掌

【今後の希望】 親子で音楽を通し檀家さんと共に尊いみ教へを聞かせていただける寺でありたいと願っております。



●慧燈寺坊守

藤澤 洋子

お悔やみ

浄楽寺第3世坊守 木村 悦子 様

法名 信授院釋尼法悦

2002年11月6日往生 行年83歳



【家族から一言】

20数年来、二つの癌とその後遺症に悩まされ、晩年にはパーキンソン病にも見舞われましたが、笑顔を忘れず、常に家族のことを気遣ってくれました。病と共に生きる強さと優しさを学ばせてもらったような想いで一杯です。

正信会関連

昨年、正信会結成45周年記念事業の一環である11月25日かでの2・7にて開催致しました演劇公演「再会」は、340名余りの方々に感動を与えて下さいました。これもひとえに当会OBの皆様を初め、寺族婦人会会員の皆様、組内住職の皆様、有縁の皆様のご協力とご支援の賜物であると会員一同心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

また、本年12月に記念式典、明年2月に記念旅行を企画しておりますので、これからもよろしくお願ひ申し上げます。



編集後記

広報伝道部の任期として、最後の組報となりました。この間編集にあたり、皆様のご協力を頂きました事に、厚く御礼申し上げます。

担当させていただき、カラー印刷となりましたが内容的には力不足で、まだまだ検討していかなければなりません。

インターネット時代が定着しましたが、これからは情報企画委員会とのより一層の連携が必然となるでしょう。組のホームページなどとのいろいろな工夫が課題となりました。今後も皆様からのご意見、ご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。